

消化器癌手術における術後感染症が癌予後に与える影響の多施設共同調査研究

2013年4月1日から2015年3月31日までに当院外科において消化器癌の根治手術を受けた患者さま

研究協力をお願い

当科では「消化器癌手術における術後感染症が癌予後に与える影響の多施設共同調査研究」という研究を行います。この研究は、2013年4月1日から2015年3月31日までに佐々総合病院外科にて、消化器癌のために根治手術を受けられた患者さまの術後感染症と癌の予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

1) 研究の概要について

研究課題名：消化器癌手術における術後感染症が癌予後に与える影響の多施設共同調査

研究期間：倫理委員会承認日～2021年7月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院外科 感染制御部 丸山 弘

(2) 研究の意義、目的について

術後感染症の発症が癌再発と予後に与える影響を調べることを目的とする。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2013年4月1日から2015年3月31日 佐々総合病院外科にて、消化器癌のために根治手術を受けられた患者さまの術後感染発症状況と周術期の癌治療の有無、癌の再発の有無などを解析し術後感染症と癌の再発の関係の検討を行います。

この研究は、患者さまの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：血液、手術時に切除した病理組織、等

情報：年齢、性別、BMI、腫瘍マーカー、手術内容、抗癌剤、放射線治療、術後感染症の発症の有無、感染症の起炎菌、癌の再発の有無。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個

人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同 倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

佐々総合病院 外科 矢口義久

〒188-0011 東京都西東京市田無町 4-24-15

電話番号：042-461-1535（代表）

メールアドレス：y_yaguchi@tmg.or.jp